

令和6年度社会福祉法人岩沼市社会福祉協議会事業報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

1 推進目標：地域も関わり合える福祉学習の充実

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたとはいえ、様々な感染症が1年を通し発生していたこともあり、そうしたことに十分配慮しながら教育委員会や各学校と連携し、福祉教育実践普及校の小中学校全校指定、福祉作文の募集、福祉体験学習事業や福祉教育実践発表会・研究会などコロナ禍前のように各事業を実施し、児童生徒に対する福祉教育が継続的に行われるよう取り組みました。

(1) 継続的な福祉学習・福祉教育の実践《重点項目》

○福祉教育実践普及校の指定・研究

- ・福祉教育実践普及校の指定（1年） 市内4小学校・4中学校の全校指定
- ・福祉教育実践発表会・研究会の開催 令和6年7月2日（火）玉浦コミュニティセンター
 実践報告 岩沼西小学校、玉浦中学校
 講 話 テーマ「福祉体験学習を通して地域の子どもたちに伝えたいこと」
 講師 森 重春 氏 黒田明美 氏
 参加者 46名

(2) 認め合える心を育む

○福祉作文の募集と表彰

応募数 218点（43点）※カッコ内は審査会対象点数
 岩沼小学校 5点（5点） 岩沼中学校 91点（7点）
 玉浦小学校 53点（4点） 玉浦中学校 34点（7点）
 岩沼西小学校 5点（5点） 岩沼北中学校 9点（7点）
 岩沼南小学校 1点（1点） 岩沼西中学校 20点（7点）
 福祉作文表彰式 令和6年10月19日（土）岩沼市民会館中ホール 受賞者22名
 各賞受賞作文集 400部作成
 市内小中学校、関係機関・団体等へ配布

○福祉（体験）学習の支援

- ・市内小・中学校、専門学校や団体に対し児童生徒への福祉体験学習の指導に職員やボランティア等を派遣し、学習の支援を行いました。

番号	月 日	学校名	体 験 内 容	協力団体/ ボランティア等
1	5月29日	岩沼西小学校	3年：福祉学習 講話	職員 2名
2	7月 4日	岩沼小学校	4年：福祉体験 手話体験	職員 2名 ボラ 5名
3	7月 9日	岩沼西小学校	3年：福祉体験 手話体験	職員 2名 ボラ 6名
4	7月16日	岩沼小学校	3年：福祉体験 白杖体験	職員 2名 ボラ 5名
5	8月 2日	ボーイスカウト宮城県連盟岩沼第1団	小・中学生：福祉体験 手話体験、卓球バレー、ボッチャ	職員 2名 ボラ 6名

6	10月22日	玉浦中学校	2年：福祉体験 白杖体験	職員 ボラ	2名 1名
7	10月24日	玉浦中学校	3年：福祉体験 車いす体験	職員 ボラ	3名 3名
8	10月31日	名取高等学校	2年：福祉体験 車いす体験、 白杖体験、高齢者疑似体験	職員	2名
9	12月4日	東日本航空 専門学校	2年：福祉体験 講話、白杖体験	職員 ボラ	2名 1名
10	12月5日	東日本航空 専門学校	2年：福祉体験 講話、手話体験	職員 ボラ	2名 2名
11	12月19日	岩沼小学校	3年：福祉体験 車いす体験	職員	2名
12	1月29日	岩沼南小学校	5年：福祉体験 車いす体験 障害者向けスポーツ体験	職員 ボラ	3名 14名

(3) 福祉に触れる学びの実践

○小中学生のためのボランティア体験

- ・小学生のボランティア体験教室 【行事ボランティア活動体験】

令和6年7月30日（火）岩沼市中央公民館 参加者 児童 11名

- ・中学生のボランティア体験教室 【行事ボランティア活動体験】

令和6年7月29・30日（月、火）岩沼市中央公民館 参加者 生徒 延べ10名

○次世代支援事業

子どもの居場所づくり運営委員会への参画

ボランティア活動体験 【行事ボランティア活動】

令和6年7月4、10、11、17日（水、木）東・西・南・北部のびやか教室
参加者 児童 111名

2 推進目標：地域を支えるボランティア育成と活動支援の充実

令和6年度は、多くの団体でサロン活動やボランティア活動が再開されたことに伴いサロンやボランティア活動の支援件数も増えました。また、各種媒体を活用しボランティア活動情報の提供に努めるとともにコーディネート機能の強化を図りボランティア活動支援の充実に努めました。

(1) ボランティア育成の推進《重点項目》

○ボランティア養成講座

- ・岩沼市自発的活動支援事業ボランティア養成講座

3月21日（金）岩沼市総合福祉センター 受講者 12名

(2) ボランティア活動支援の充実

○ボランティア活動支援事業

- ・ボランティア活動情報の提供 社協だより・ホームページ・公式LINEで発信

○ボランティア保険加入促進事業

ボランティア保険加入 43団体 1,043名

行事保険加入 延37団体

(3) ボランティアセンター機能（仕組み）の充実

○ボランティア登録（令和7年3月31日現在）

個人 153名 団体 37団体

○ボランティアのコーディネート

・ボランティア相談及び活動件数

依頼者	個人	施設	団体	地域	社協	行政	合計
相談件数	9件	2件	8件	3件	35件	0件	57件
活動件数	2件	2件	4件	3件	35件	0件	46件
活動者数	4名	13名	8名	2名	119名	0名	146名

3 推進目標：気軽に参加できる地域づくりの充実

令和6年度は、市民福祉フォーラムを変更、ヤングケアラーをテーマとした福祉映画上映会を開催し、地域づくりを考える機会を提供しました。また、障害児者等のサロン事業においては、障害者等の居場所の一つとなるようコロナ禍前の回数に近い状況で実施することができました。さらには、地域支え合い活動の助成事業や遊具等の貸出事業においても、多くの地域で活動が再開されたことに伴い、支援件数が増えるなどそれぞれの事業を通して地域づくりが充実されるよう支援に努めました。

(1) 居場所づくり

○障害者サロン

・障害がある人と家族とボランティアの時間

6月15日、8月3日、10月5日、12月7日、2月1日（土） 5回開催

岩沼市総合福祉センター 参加者 延33名 ボランティア 延19名

・発達に何らかの課題があるお子さんと家族のおもちゃの時間

6月15日、8月3日、10月5日、12月7日、2月1日（土） 5回開催

岩沼市総合福祉センター 参加者 延9家族26名 ボランティア等 延12名

○市民福祉フォーラム ※市民福祉映画上映会に変更して開催

・映画「陽菜のせかい」上映

10月19日（土） 岩沼市民会館中ホール 参加者 74名

(2) 地域資源・社会資源の開発

○既存団体の把握、つながり作り

(3) 地域支援・団体支援

○地域サロン支援

・サロン運営の支援 9件（助成金・立ち上げ支援他）

・サロン相談会 3月12日（水） 岩沼市総合福祉センター 参加者3団体3名

○地域支え合い活動助成事業

・ふれあいサロン事業等への支援と推進 助成金 4団体 150,000円

○遊具等無料貸出事業

・遊具等の貸出 154件

4 推進目標：一人ひとりを支える相談・生活支援の充実

令和6年度は、生活福祉資金コロナ特例貸付の償還免除や猶予の申請も増えており、償還に苦慮する世帯も多く、相談支援事業においては、相談者が自立に向け、困窮状態から脱却できるよう関係機関とさらに連携を深め、各種支援制度を活用し、伴走型での相談や支援に当たりました。また、ひとり暮らし高齢者等を対象とした交流事業においては、対象地域の拡大や実施回数を増やすなど内容等を工夫し実施しました。さらには、車いすの貸出件数も大幅に増えるなど生活支援の充実に努めました。

(1) 相談機能の充実

○ふれあい福祉相談事業

- ・地域福祉課の各種事業と連携し、職員が相談対応した。

(2) 生活困窮世帯への自立生活支援の充実

○愛の福祉短期貸付事業

【貸付】相談	9件	貸付	9件	貸付金	130,000円
【償還】		償還	25件	償還金	129,000円

○生活困窮者自立支援事業の受託

- ① 新規相談者 110名
29歳以下 18名 30～49歳 34名 50～64歳 21名
65歳以上 22名 年齢不明 15名
- ② 相談 2,131件
電話 755件 訪問・同行 64件 来所（面談）498件
他機関への照会・協議 814件
- ③ 制度利用
・家計改善支援事業 79件
・ハローワーク巡回相談 94件
・生活保護受給者等就労自立支援促進事業 11件
・住居確保給付金 2件
・食糧支援 483件
- ④ プラン 策定32件 終結43件
- ⑤ 就労者数 17名
- ⑥ 就活サロン「ここから」開催 24回 利用者 延35名
- ⑦ コロナ特例貸付償還猶予調査意見書作成 7件

○生活福祉資金貸付事業の受託

- ① 相談件数 119件
- ② 貸付件数 1件（緊急小口資金）
- ③ コロナ特例貸付償還免除（非課税世帯・生活保護受給・債務整理成立等）29件
- ④ コロナ特例貸付償還猶予 4件

○善意銀行の運営

・預託払出状況

預託	17件	紙オムツ、尿とりパッド、米、さつまいも、衣類他
払出	11件	紙オムツ、尿とりパッド、米、さつまいも、衣類他

○日常生活自立支援事業（まもりーぶ）の受託 対象者（実利用者）8名 生活支援員3名

○歳末たすけあい運動

募 金		配 分	
一般	3,979,920円	見舞金	4,220,000円
事務局扱い	335,582円		(124世帯・236名)
前年度繰越	410,714円	翌年度繰越	506,216円
合 計	4,726,216円	合 計	4,726,216円

(3) 高齢者や障害者がいる世帯への生活支援の充実

- ひとり暮らし高齢者会食のつどい 4回開催 参加者 123名
- 7月18日(木) 玉小学区 名取トレイルセンター 参加者18名
- 7月25日(木) 岩小学区 名取トレイルセンター 参加者26名
- 11月14日(木) 南小学区 ハナトピア岩沼 参加者40名
- 11月21日(木) 西小学区 ハナトピア岩沼 参加者39名

○高齢者夫婦世帯研修・交流会

2月14日(金) ハナトピア岩沼 参加者 97名

○車いす無料貸出事業 貸出 61件

○障害児を育てる保護者情報交換会

3月11日(火) 岩沼市総合福祉センター 参加者 8名

5 推進目標：地域福祉を推進する連携・協働の充実

令和6年度は、ふれあいの広場については中止となりましたが、敬老のつどい地域版については、地域の協力をいただき小学校圏域ごとに催し物を開催することができました。また、民生委員児童委員協議会、共同募金委員会や老人クラブ連合会の3団体の事務局、生活支援体制整備事業の実施、各種委員会や情報交換会への出席等、様々な機会を捉え、行政や関係機関・団体等との地域福祉を推進する連携・協働の充実に努めました。

(1) 連携・協働の関係づくり

○ふれあいの広場の開催 ※新型コロナウイルス感染症対策等のため中止

○岩沼市敬老のつどい地域版の受託実施

・催し物の開催

岩沼西小学校学区 9月 1日(日) 岩沼市勤労者活動センター

参加者 136名、協力者 25名

玉浦小学校学区 9月 1日(日) 玉浦コミュニティセンター

参加者 77名、協力者 21名

岩沼小学校学区 9月 8日(日) 岩沼市民会館

参加者 118名、協力者 26名

岩沼南小学校学区 9月 8日(日) 岩沼市民会館

参加者 110名、協力者 20名

・意見交換会の実施 4回開催 延参加者 102名

2合同学区(岩沼西小・玉小、岩沼南小・岩小) × 2回

・記念品の贈呈 豆乳コーンスープとトートバッグ(岩沼市敬老のつどい地域版オリジナル)を対象高齢者4,015名に贈呈

来場された対象高齢者の方々には、会場で贈呈。欠席されたの方々には、介護保険事業所、岩沼市民生委員児童委員協議会、岩沼市老人クラブ連合会の協力を得、直接又は郵送により贈呈

○岩沼市生活支援体制整備事業の受託

・第1層協議体の運営

第1回	5月30日(木)	岩沼市総合福祉センター	出席者23名
第2回	1月15日(水)	岩沼市総合福祉センター	出席者22名
第3回	2月21日(金)	岩沼市総合福祉センター	出席者22名

・研修会の実施

生活支援体制整備事業研修会 12月23日(月) 岩沼市総合福祉センター 参加者17名
テーマ : 高齢者の「望む暮らし」「馴染みのある暮らし」が続けられるよう
支援していくために～ありたい姿を目指す連携・協働・連動について～
講師 : 東北こども福祉専門学院 副学院長 大阪 純 氏

・情報誌の発行 2回(12月、3月)

IWANUMAで暮らし続けるための生きがい支えあい情報誌「ず〜っと岩沼」

・第1層生活支援コーディネーターの配置

協議体の企画・運営、第2層生活支援コーディネーターとの情報共有・活動支援、
高齢者支援のニーズ把握や社会資源の創出、関係機関のネットワーク構築等

ニーズ・地域資源把握	609回
ネットワークづくり	343回
機関・団体との連携	574回
協議体に関すること	200回
普及啓発・相談対応等	229回

○障害者関係機関等情報交換会の開催 2回

○各種委員会等への出席

(2) 連携・協働による地域福祉の推進《重点項目》

○町内会連携地域福祉活動モデル事業

・町内会指定 1町内会 稲荷町町内会

○町内会支援(テント配分)事業

・テント配分 町内会・自治会 10か所 各1張

(3) 共同募金委員会・老人クラブ連合会・民生委員児童委員協議会との連携・協働の推進

○岩沼市共同募金委員会の事務受託

- ・会務(事務、業務)の支援
- ・募金活動への協力等

○岩沼市老人クラブ連合会の事務受託

- ・会務(事務、業務)の支援
- ・社協共催事業
 - ① シニアスポーツ大会
 - ② その他事業への協力等

○岩沼市民生委員児童委員協議会の事務受託

- ・会務(事務、業務)の支援
- ・民生委員・児童委員活動への協力

6 推進目標：地域を支えるための基盤強化

第2次地域福祉活動計画の4年目となる令和6年度は、1年を通して様々な感染症が発生しましたが、概ね計画に沿って法人の運営管理等の進行管理を行いました。また、介護保険事業では、厳しい状況が続いていますが、徐々に利用者も増えており、改善が進んでいます。さらには、障害者等への相談事業を岩沼市から受託し相談支援に努めるとともに年度末には玉小学区も受託し、次年度からの実質実施に向け準備を進めました。

(1) 社協だよりの充実

○社協だよりの発行

会報「社協だより」の発行 年4回（7・10・12・3月） 計 75,000部

(2) ホームページ等の内容充実

○ホームページの更新

随時更新

○LINE公式アカウントの運用

随時更新

(3) 自主財源の確保

○経営・財政基盤の強化

1 会務の運営

①理事会

会 務 名	開 催 期 日	出 席 数	内 容
第316回 理 事 会	5月28日	理事 7名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業報告について ・令和5年度収支決算について ・岩沼市デイサービスセンターさとのもり運営規程の一部改正について ・第161回評議員会の開催について ・理事候補者について
第317回 理 事 会	9月20日	理事10名 監事 1名	<ul style="list-style-type: none"> ・諸規程の一部改正について
第318回 理 事 会	11月28日	理事 9名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人岩沼市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について ・令和6年度資金収支補正予算（第1号）について ・第162回評議員会の開催について
第319回 理 事 会	3月6日	理事12名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・諸規程の一部改正について ・各種委託契約について ・指名競争入札による契約について ・会社役員賠償責任保険の契約について ・令和6年度資金収支補正予算（第2号）について ・令和7年度事業計画について ・令和7年度資金収支予算について ・第163回評議員会の開催について

②評議員会

第161回 評 議 員 会	6月14日	評議員17名 正副会長 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業報告について ・令和5年度収支決算について ・理事の選任について
------------------	-------	-------------------------	--

第162回 評議員会	12月16日	評議員18名 正副会長	・令和6年度資金収支補正予算（第1号）について
第163回 評議員会	3月17日	評議員20名 正副会長	・令和6年度資金収支補正予算（第2号）について ・令和7年度事業計画について ・令和7年度資金収支予算について

③委員会等

監事会	5月17日	監事2名 会長	・令和5年度事業報告について ・令和5年度収支決算について
第5回 評議員選任・ 解任委員会	6月14日	委員5名	・評議員の選任について
地域福祉 推進員会議	7月10、 11日	地域福祉推進員	・岩沼市社会福祉協議会について ・地域福祉推進員の役割について ・会費の納入及び新会員募集について
総合企画部会	2月21日	部会員4名	・令和7年度事業計画について
総務財政部会	2月21日	部会員3名	・令和7年度当初予算について
正副会長会議	年12回	正副会長	・当面の事業並びに運営について ・理事会・評議員会の案件について ・月間行事予定の調整と参加出席調整等

○岩沼市デイサービスセンター「さとのもり」管理・運営

令和3年度より5年間、岩沼市デイサービスセンターさとのもりの指定管理者として岩沼市から指定を受けて4年目となり、継続して管理・運営に努めました。

新型コロナウイルス感染症5類移行後も、利用者数が伸び悩み稼働率を上げることが難しい状況が続いていましたが、周知活動の強化や業務改善等に取り組むことで登録者数や稼働率の向上を図ることができました。

一般型及び認知症対応型と共通して、日常生活に支障が見られる高齢者（事業対象者及び要支援・要介護認定を受けた方）に対し、日常生活に必要な支援及び心身機能の維持向上を目的としたサービスを提供し、生きがいを持った暮らしの一助となるよう努めました。

令和6年度利用状況

	延利用者数	一般型(予防) 延利用者数	認知症型 延利用者数	開所日
年間合計	7,753名	6,933名 (1,874名)	820名	362日
平均稼働率	67.7%	77.1%	33.5%	

①通所介護及び介護予防通所介護の提供

・生活指導、機能訓練、入浴サービス、食事サービス、送迎サービス

②事業

- ・新規契約者 50名
- ・無料体験・見学者 45名（内41名契約）
- ・家族介護教室（市受託事業） 令和6年12月22日（日） 参加者16名
- ・介護実習等の受け入れ 4名

③会議の開催及び参加

- ・岩沼市デイサービスセンターさとのもり地域密着型サービス運営推進会議の開催
2回開催（8月、1月に開催）

○岩沼市地域包括支援センター事業の受託

岩沼市社会福祉協議会地域包括支援センターの事業は、平成20年4月1日から継続して受託し、令和6年度においても岩沼小学校区の地域包括支援センター事業を岩沼市から受託し、事業を実施しました。

① 法定事業

- ・介護予防支援事業、第1号介護予防支援事業 1,658件
- ・総合相談事業 1,836件
- ・権利擁護事業（虐待・成年後見制度利用支援、消費生活相談を含む） 142件
- ・包括的・継続的ケアマネジメント事業 159件
- ・生活支援コーディネート事業 1,792件
- ・認知症地域支援事業 260件
- ・医療連携 294件
- ・地域ケア個別会議の開催 3回

② 任意事業

- ・介護予防教室 6回開催 参加者 88名
- ・認知症サポーター養成講座 11回開催 参加者 136名
- ・出前講座 1回開催 参加者 11名
- ・2層協議体 1回開催 参加者 8名
- ・生活支援体制整備事業岩沼小学校圏域研修会 1回開催 参加者 27名
- ・包括だより 4回発行

○居宅介護支援事業

岩沼市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所については、介護保険法等の趣旨に則り利用者の意思及び人格を尊重し、可能な限り居宅において、その方の有する能力に応じて自立した生活を営むことができるよう、要介護認定等の申請に係る援助や利用者等への相談業務、居宅介護サービス計画等の作成と実施状況の把握、指定居宅サービス事業者や介護保険施設等への紹介等の居宅介護支援を行いました。

また、1月20日より岩沼市から岩沼市避難行動要支援者個別避難計画作成業務を受託し、避難行動要支援者の個別避難計画を作成する業務等を行いました。

- ・要介護支援事業 998件
- ・介護認定調査業務 107件
- ・介護予防支援業務 39件
- ・避難行動要支援者個別避難計画作成等業務 20件

○特定・障害児相談支援事業

岩沼市社会福祉協議会指定相談支援事業所については、障害者総合支援法に基づき、指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業の円滑な運営管理を図るとともに、利用者に対し、適切な相談や援助を行う事業を実施しました。

また、4月1日より岩沼市から岩沼市障害児者等相談支援事業（岩沼南小学区）を受託し、障害児者等及びその家族並びに支援者からの相談に応じ、障害者等が自立した日常生活や社会生活が営まれるよう支援に努めました。さらには、1月6日より同事業（玉小学区）も岩沼市から受託し、次年度からの実施に向け準備を進めました。

- ・計画相談支援 273件
- ・障害児相談支援 31件
- ・岩沼市障害児者等相談支援事業 246件

(2) 役職員の価値観の共有化

○役職員研修の充実

- ・役職員研修会 4回
- ・階層別研修会への参加 11名
- ・職能別研修会への参加 162名

○組織体制の見直し

- ・諸規程の制定及び改廃 改正8件

(3) 地域福祉活動計画の進行管理

○第2次地域福祉活動計画の進行管理 (令和3年度から令和7年度)

- ・地域福祉活動計画策定委員会及び事業評価委員会の開催 1回(10月)

(4) 大規模災害時の相互支援

○被災地社協への支援

- ・能登半島地震(令和6年1月1日発生)
石川県・富山県・新潟県へ支援金 市共募と連携し募金活動を実施
石川県志賀町災害ボランティアセンター運営支援 職員1名派遣
- ・秋田県・山形県大雨災害(令和6年7月25日発生)
秋田県・山形県へ支援金 市共募と連携し募金活動を実施
山形県戸沢村に災害ボランティアバス実施
8月27日(火) ボラ13名 職員4名

○協定社協への支援等

- ・尾花沢市社会福祉協議会
山形県尾花沢市へ除雪ボランティア活動を実施 2月6日 ボラ24名 職員2名

○災害時相互支援協定に基づく会議研修

- ・宮城県内社会福祉協議会 会議、研修
- ・仙台都市圏域等市町村社会福祉協議会 会議、研修
- ・県南地域社会福祉協議会連絡会 会議、研修

事業報告書の付属明細書

令和6年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の付属明細書は作成していない。

社会福祉法人岩沼市社会福祉協議会